

「方丈記とクリスマス」

牧師 立石尚志

ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。

鴨長明作、有名な方丈記(1212年)の書き出しである。高校時、国語教諭から「大人になって有名な古典の書き出しを数行すらすら言えたら教養があるように見えるから、せめて数行は覚えておけ」と言われ、ここまでは覚えたが、この先は残念ながら暗記しておらず言えない。後悔先に立たずだが、それにしても方丈記という書物は思春期の自分に「世のはかなさ」をしっかりと刻み込んでくれた懐かしい書物となっている。

父の駐在のため小中学校を米国で過ごし、さらに高校1年で洗礼を受けてキリスト者となったため、非日本的な考え方に大分影響されてきた自分ではあったが、方丈記や古典との出会いで日本的な感覚が少なからず身についたように思う。

石を積み上げれば地震で崩れ落ち、木造家屋は大火で焼け落ち



Knights of Columbus(カトリックの活動団体)が作成した人気の高い自動車用のマグネット/ステッカー。クリスマスの中心を覚えよう、という訴え。

る。桜の花びらが散って行く姿を見て、世のはかなさを思う。所詮、どの道、どっちみちという言葉に現われる諦めの気持ち。だれが権力を握ろうと、期待はほどほどにしておくのがよく、出る杭は打たれるので長いものには巻かれて生きるのが賢い。難しいことはさておき、「今を一生懸命生きて行こう」という、どこか「刹那的な感覚」を持ちながら日本人は毎日を生きているのではないだろうか。

さて、クリスマスと方丈記がいったい何の関係があるのか。実は私の中で勝手に結びついているだけなのであるが、その理由を聞いていただけたら幸いである。(裏面に続く)

転会の証し

グリニッチ教会員

11月22日に転入

1. シンガポールで受洗

転入の証しとして、今の自分と神様との関係を顧みる機会を与えてくださったことに感謝します。私は、シンガポールのInternational Baptist Churchの英会話教室に通ったことがきっかけで初めて聖書に触れました。その英会話の授業の最後の5分は、クリスチャン教師スーザンと英語の聖書を読むのが常でした。それから日本語で聖書に触れたいという思いから Singapore Japanese Christian Fellowship の家庭集会へ集うようになり、神様が私とともにいつも歩んで下さっていたことを知り、信仰告白をし、イエス様が私の罪のために十字架に架けられたことを認めました。そして SJCF の礼拝にも子供たちと出席するようになりしました。

「人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」

ローマ 10:10

という聖句により、洗礼を受ける決心をしました。洗礼を授けてくださった片岡先生は聖書を通して、そして奥様の栄子さんと共にご自身の

生活を通して多くのことを教えてくださいました。片岡先生は2002年4月に、

「私にとっては生きることはキリスト、死ぬこともまた益です。」

ピリピ 1:21

の言葉と共に天へ召されて行きました。先生が心配されていたことは、受洗はクリスチャン生活のスタートラインに立ったばかりのところ。その後、新米クリスチャンが無事に教会に属してクリスチャン生活を歩んでいけるかどうかということでした。

2. グリニッチまでの導き

そのような心配を頂き、引っ越しを繰り返しながらも、東京では碑文谷教会で、最初の NY では NY 日本語教会で、香港では HKJCF で牧されてきました。それでも在住期間が短い私ですから、いつもお客様のよう存在でいたように思います。それも初めは心地よかったです。だんだんもっとしっかりと地につけた教会生活がしたいと思うようになりました。そして、こんな私でも、神様の御用にために用いられることがあるのでしたら、どうか用



アメリカでクリスマスが禁止!

かつてこのアメリカにおいてクリスマスが禁止されていたことがあった。独立以前の1659年5月より22年間、マサチューセッツ湾植民地(Massachusetts Bay Colony)ボストンにおいてである。17世紀、ニューイングランドに入植し、建国の土台を築くことになった人々の多くが「ピューリタン/清教徒」の信仰を持っていたが、彼らはクリスマスのカトリック教会の悪しき習慣とみなし、祝うことを反対したのであった。その背景に彼らの祖国、英国における事情があった。

イギリスにおけるクリスマスの事情

11~17世紀、英国において、クリスマスは一年で最もにぎやかな祭りであり、やかましく派手に祝われていた。封建領主らは、自分たちの城をヒイラギで飾り立て、宴会や歌、ゲーム、踊り、パントマイムなど行われ、ハロウィーンのごとく、いたずらや食べ物あさり到家々を巡り歩くようなこともなされていた。16世紀、カトリック教会から離脱し設立された英国国教会においても状況は変わらなかった。そのような中、英国国教会の不徹底な宗教改革ゆえに信仰の原点に立ち返ろうと「清教徒運動」が興るが、彼らにとりクリスマスはまさにキリストを汚す忌むべき習慣と映ったのである。クリスマスは1562年にはスコットランドで、1644年にはイングランドで禁止となった。当時、クリスマスは「欲望と放縦によるキリストの全き忘却」とまで言われていた。

200年もクリスマスを選り続けたアメリカ

話しは米国に戻るが、1681年にクリスマス禁止の法律が廃止されたにも関わらず、クリスマスがアメリカ社会一般に受け入れられるようになった19世紀の半ば頃までなお二百年近くの歳月が流れることになる。アメリカではこの間、他のプロテスタント諸派(バプテテスト、メソジスト、クエーカー教徒、スコットランド/アイルランド系長老派教会、メノナイト系)が旧大陸から流入し、あるいは新大陸で生まれていくが、どの教派も「心は清教徒」であったため、12/25にクリスマス祝うことに関しては否定的であった。

ドイツ・アイルランド系移民、都市化の影響

アメリカにおいてクリスマスが盛んになるのは、アイルランド系、ドイツ系移民が1800年代の半ば頃に大挙して入植して来てからである。クリスマスを否定したことがなかったルーテル系主体のドイツ移民はクリスマスツリーを、カトリックが多かったアイルランド人たちは、窓辺に光を点す習慣を、その他、イタリア系のカトリック教徒もカトリックのクリスマスの習慣をそれぞれ持ち込んだ。その他の様々な習慣もそれぞれの移民の文化に応じて、持ち込まれるようになった。その後、産業の発達に伴い、中産階級が生まれ、贈り物を互いに贈り合う習慣が生まれ、クリスマスカード書きなども始まる。また都市化の影響により、徐々に、クリスマスは家族中心の祭りとなっていった。デケンズの「クリスマス・キャロル」の影響もあり、19世紀頃からクリスマスは「隣人愛」「慈善」の意味合いを持つようになった。

商業化されたクリスマスを取り戻す!?

キリストがサンタクロースにとって代われ、おもちゃ作りの小人たちと赤い鼻のトナカイなどがラインナップに加わり、クリスマスはますます商業化され、非キリスト者にも受け入れられていくことになった。こうしてクリスマスは再び、「キリスト抜き」の食べ物、祭りの祝典になった。日本の状況は説明するまでもない。今回はしかしながら、プロテスタント教会の多くはクリスマスを禁止するのではなく、向き直って人々にクリスマスの本当の意義を伝える伝道の機会、また教会で家族と共に過ごす日として位置づけるようになった。カトリック教会側でもクリスマスの中心はイエス・キリストであることを熱心に訴えるようになり、図らずも新旧キリスト教が宣教という同じ目的で一致する時となった。■

いてくださいという思いが強くなりました。そして今回は神様に導かれてコネチカットに住まいを構え、グリニッジ福音キリスト教会で牧される恵みにあずかることになりました。

3. ファミリーキャンプへの参加

さて、洗礼を受けたときの私は、神様に嫁ぐ花嫁のように輝いていたのですが、その後の道なりは決して平坦なものではありませんでした。クリスチャンになって10年。いつの間にか、心を尽くして喜ぶことも、心を尽くして祈ることも、心を尽くして感謝することも忘れていた自分に気が付きました。そうです。今年9月のフィラデルフィア郊外のプリンマー教会で行われたファミリーキャンプ。ハワイの中野雄一郎先生の『人生それで「よ」「い」「か』

の講演には心揺さぶられる思いでした。『人生それで「よ」「い」「か』とは、喜びなさいの「よ」、祈りなさいの「い」、感謝しなさいの「か」という意味でした。

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべてのことに感謝しなさい。これが、キリスト・イエスによって、神があなたに望んでおられることです。第1テサロニケ5:16~18」
キャンプで私は中野先生にこう話しました。「一人台所仕事をしているとき、リビングから家族の笑い声が聞こえてきても、どうしようもない孤独感に襲われる。」と「幸せじゃない。」と・・・先生は「喜びなさい」といいました。聖書の中には「喜びなさい」という言葉が800回出てくるともいっていました。喜びなさい？喜べるかな？喜んでみよう！それも心から！！私は暗闇から一筋の明るい光を見たような気持ちになりました。

中野先生は山をも動かす祈りについても語られました。聖書に書かれているように、

山をも動かす祈りというものがあるのなら、祈ってみようと思いました。形だけの祈りではない、心からの祈りをしてみようと思いました。

4. 神の導きに感謝して

このキャンプでは私に付き合った形で参加した家族ですが、中野先生の涙あり笑いありの講演にどんどん引き込まれていきました。そして私と同じように家族の一人ひとりの中にある長年の確執が少しずつほぐされていくのが手に取るように分りました。本当に神様のご計画には驚かされます。

香港で中野先生の講演を聴き逃してしまった私が、訪れたばかりのグリニッジの教会を通して中野先生との出会いを与えてくださった神様と教会の皆様へ感謝の気持ちでいっぱいです。通勤族の私たちですが、グリニッジ福音キリスト教会の皆様と共に神様を賛美していきたいと願っています。■

(方丈記とクリスマス p 1からの続き)

方丈記と伝道者の書

聖書には部分的ではあるが、方丈記と非常によく似た書物がある。「空の空。すべては空。」という書き出しで始まる旧約聖書・伝道者の書(コヘレトの言葉/紀元前900年~300年頃)である。伝道者は、人間の罪性と無能とを正視し、罪無き者たちが苦しむのを見、さらに全ての人間に訪れる「死」を考え、人間存在はまさに「空」であると結論する。この伝道者は人間存在の理由を探ることを「つらい仕事」(伝道1:13)と表現している。多くの人が「刹那的に瞬間瞬間を生きる」ことを選び、自分という人間の存在意義を考えるという最も重要なことを考えるのを避けようとするのは、まさにそれが辛い仕事だからなのだ。その意味で、テレビもゲームも、子育て、仕事ですら、人生の根本問題を考えることから逃れる気晴らし、アミューズメント(ア

やめる+ミューズ/考える)になりうる。鴨長明は一心にこの問題に取り組んだのであろうが、最後は「？」で終わっている。一方伝道者は答えを出して終わる。答えは「神」である。

「結局のところ、もうすべてが閉かされていることだ。神を恐れよ。神の命令を守れ。これが人間にとってすべてである。」伝道者12:13

TVの水戸黄門の人気の秘密

悪徳商人とつるむ悪代官や悪大名が作り出す構造的な悪のもと、いじめは横行、平民は搾取、不義がまかり通る。状況が変わる見込みがない中、人々は刹那的に現状を受け入れざるを得ない。ところがそこにオールマイティー、問答無用の究極の権威がやって来る。黄門様はすぐに正体を現わさず、虐げられている者たちとは関係を築き、悪を行なう者たちに対しても仮の姿で数度は現われ、悪を改めるチャンスを与えてくれる(これが動かぬ証になることが多い。ここまで40分

くらいかかる。)そして完全に調べがついた上で裁きの座に着く。最後に下す裁きは公明正大かつ完全に正しい。老公の裁き以降、長いものに巻かれて生きるしかない、と諦めていた者たちは、刹那的な生き方から解放され、明るい未来に羽ばたいて行く。

毎回同じストーリーラインでありながら人々がこれを見続けるのにはわけがある。つまり、表面的には「はかなさ」を好む日本人ではあっても、心の奥底では絶対的なお方(人格的な神)を求めているということなのだ。

クリスマスのメッセージ

クリスマスは神の御子が人としてこの地上に来られ(初臨)、再び世の終わりの日に裁きを行われるために来られる(再臨)その両方の日を覚える時である。ストーリーラインは日本人が大好きなTV水戸黄門と実は同じである。方丈記の答え、空しさへの回答は、正にクリスマスにあるのである。■

■ 12月~2010年1月の集会・行事予定 ■

※ 下記以外にも週の中に、入門クラス、聖書の学び会が定期的に行われています。お問い合わせください。■ 予定が変更になることがありますのでご確認ください。

- 【定例集会】
- ★ 日曜礼拝/10:00~11:30
- グループ会/11:30~12:00
大人、子供それぞれのクラスに分かれます
- 【各種集会】
- ★ グリニッチ 家庭集会 (場所は電話で)
原則第一金曜 10:00am

- ★ グリニッチ 聖書を読む会 金曜 10:00am
(場所は電話でご確認ください)
- ★ スタンフォード 聖書を読む会
毎週水曜 1:00pm 場所: 井上宅
- ★ ハリソン 聖書を読む会
隔週火曜 10:00am
場所: ハリソン長老教会

- ★ ニューヘイブン 聖書を読む会
調整中 場所: 日比野宅
- ★ ハートフォード 聖書を読む会
月一回木曜 10:30am 場所: テイラー宅
- ★ メンズ・バイブル・フェローシップ
調整中 荒木宅 or 教会
- ★ マウントキスコ 聖書を読む会
毎週水曜 8:00pm 場所: 平野宅

★子どもクリスマス会特別、マジックショー-12/20 午後3時、クリスマス礼拝 同日午後4時半

★元旦礼拝 1/1 (日)午前8時、新年礼拝 1/3(日)午前10時、お餅を食べる会 同日午後12時半~

★ハーベスト・タイム: 毎週金曜朝 8時より WMB C あるいは <http://www.harvesttime.tv/>にて

★ CGNTV インターネット TV 放送 <http://japan.cgntv.net/>

★ 日本語ウェブ放送: BBN 聖書放送 <http://www.bbnradio.org/japanese/>

《教会住所》グリニッチ福音キリスト教会 (Japanese Gospel Church of Greenwich)、牧師 立石尚志

c/o St. Paul Ev. Lutheran Church, 286 Delavan Ave. Greenwich, CT 06830 website: www.jgclmi.com

《問い合わせ》教会 TEL/FAX (203) 531-6450、牧師宅 TEL/FAX (203) 531-1609、e-mail: jgclmi@verizon.net

